

4/25
(月)

長島合同軟式野球部が優勝 悔しさを晴らすために

長島合同軟式野球部(村岡俊一郎監督・15人)が、第52回鹿児島県中学校春季選抜野球大会出水地区大会で優勝し、輝かしい功績を残しました。

同部は、町内4校(鷹巣、川床、長島、平尾)の合同チームとして昨年7月から活動。これまでも全日本予選地区大会で優勝、出水地区新人戦で準優勝するなど結果を残してきました。

4月に開催される県大会へ出場する予定でした



はつらつとしたプレーをみせる選手ら

試合中でのミーティングの様子



が、新型コロナウイルス感染症の影響により、出場を辞退。その後の2大会も辞退し、同部はそのまま解散したため、選手たちは悔しい思いをしました。

鷹巣中野球部の宮脇銀太キャプテンは「優勝した時はうれしいよりもホッとした。県大会に出場できないと決まった時は、本当に悔しかった。この悔しさを晴らすために、これまで以上に感染対策を徹底して練習に励み、地区優勝を目指したい」と心の内を明かしました。

3年生にとって最後の大会となる鹿児島県中学校総合体育大会地区予選は、6月14日(火)から開催されます。



優勝を果たした野球部員と保護者ら

5/11
(水)

職業奉仕賞を受賞 次の世代へ引き継ぐ



受賞したサンレディー長島加工組合のかたがた

5月11日、サンレディー長島加工組合(赤瀬栄子代表)が職業奉仕賞を受賞しました。

これは、阿久根ロータリークラブが毎年行っていて、職業奉仕の精神を体現している個人や法人に贈られます。

同組合は、平成16年度から地元の食材を使用した加工品を生産販売しており、農林水産物の消費拡大や地域活性化に大きく貢献しています。

赤瀬代表は「歴代のかたたちのおかげで、ここまで活動してきた。今回の受賞はその恩返しと思っている。今後は長島の食の伝統を次の世代へ引き継げるよう、若手の育成に力を入れたい」とこれまでの感謝と今後の抱負を語りました。